

福祉等関係専門職の生涯キャリア形成を目指す

TFU

TOHOKU FUKUSHI UNIVERSITY

実学臨床研究

第4回

セミナー

福祉施設利用者の心理と行動 ～「てこずり行動」への理解・対応～



◆ 日時 2021年12月17日(金) 18時30分～20時

◆ 場所 Zoom オンライン (Zoom 情報後日送付)

◆ プログラム

◎ 講演テーマ：福祉施設利用者の心理と行動 ～「てこずり行動」への理解・対応～

講師：渡部 純夫 氏 (東北福祉大学総合福祉部 福祉心理学科 教授)

コーディネータ：調整中

◎ 情報提供：60分 / 意見交換：30分

◆ 参加方法 無料 Web 申し込み

◆ 第4回 セミナー趣旨

福祉施設で利用者さんとかかわりを持つにあたって、なかなかその行動の意味を理解できないことが起こります。この「てこずり行動」を通して表現された心理的意味は、なんなのか、利用者さんのどんな心の真相が隠されているのか、それをどのように見ていけばよいのかなどについて、臨床心理学の視点を中心に考えていきます。

◆ 講師プロフィール 渡部 純夫 (わたなべ・すみお)

東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科教授・東北福祉大学大学院総合福祉学研究科教授。

東北福祉大学学生支援センター長。臨床心理相談室室長。学生相談室相談員。福祉心理学科学科長

(主な著書)

『福祉の時代の心理学』(共著)(ぎょうせい)。『高齢者の「こころ」事典』(共著)(中央法規出版社)。『子供の健康』(奥会津書房)。『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』(共著)(八千代出版)。『心理学理論と心理的支援』(共著)(ミネルヴァ書房)『福祉心理学総説』(共著)(田研出版)『社会貢献学入門』(共著)(TKK3 大学連携プロジェクト共同テキスト開発委員会)『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』(編著)(八千代出版)『福祉心理学』(編著)(ミネルヴァ書房)他

※裏面もご覧ください

◆企画・運営：TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会

第5回セミナー 予定

認知症スティグマと その低減方策について考える

日時 2022年1月27日(木) 18時30分～20時
 場所 Zoom オンライン
 講師 石附 敬 氏 (東北福祉大学総合福祉学部 准教授)

◆ これから(2022年3月まで)のスケジュール

※テーマは変更される場合もございます

回	月	テーマ / 講師
1	終了	実践現場で「学び続けること」の意義 ～実践の質を高め、問題解決力を身につけるためにできること～
2	終了	施設における虐待防止を考える ～より良い支援を育むみんなの課題～
3	11/25 (今回)	利用者中心の小規模施設ケア 高橋 誠一 氏 (東北福祉大学総合マネジメント学部 教授)
4	12/17 (次回)	福祉施設利用者の心理と行動 ～「てこずり行動」への理解・対応～ 渡部 純夫 氏 (東北福祉大学総合福祉学部 教授)
5	2022年 1/27	認知症スティグマとその低減方策について考える 石附 敬 氏 (東北福祉大学総合福祉学部 准教授)
6	2/17	まちで育つ ～地域療育システムの開発と評価、そして実践～ 三浦 剛 氏 (東北福祉大学総合福祉学部 教授)
7	3/3	障がい者の社会参加と地域生活 阿部 一彦 氏 (東北福祉大学総合福祉学部 教授)
8	4月	触法障害者の『入口支援』を巡る課題を考える 田中 尚 氏 (東北福祉大学総合福祉学部 教授)

◆ 【月例】TFU 実学臨床研究セミナー開設の趣旨

こんにち家族や地域社会が変化し多様化する中で、人々の幸せやより豊かな生活を願い、複雑化する支援ニーズに向き合う対人援助の専門職の皆さんは、絶えず新しい知識を身に付け、成長し、新しく生じる問題に対応する力量を身に付けることが求められています。

「行学一如」を建学の精神とする東北福祉大学(TFU)は、実践の質を継続して高め、問題解決力を身につけるための学びの機会を提供する取組み、月例「実学臨床研究セミナー」を開催することにいたしました。

福祉現場など実践の場のイマを見つめ、これから求められる対人専門職人材の育成や成長、キャリア形成を考える機会になれば幸いです。

【企画・お問い合わせ】



東北福祉大学 TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会

TEL 022-717-3359 Fax 022-301-1293 E-mail kenkyu-seminar@tfu-mail.tfu.ac.jp

※TEL 及び FAX は同事務局を担う実学臨床教育推進室につながります (平日 8:30～17:30 のみ 土日・祝日不在)